「家庭ごみに関する市民アンケート」結果（全体）

期間：令和５年（2023 年）３月７日から３月 24 日まで（LINE 活用）

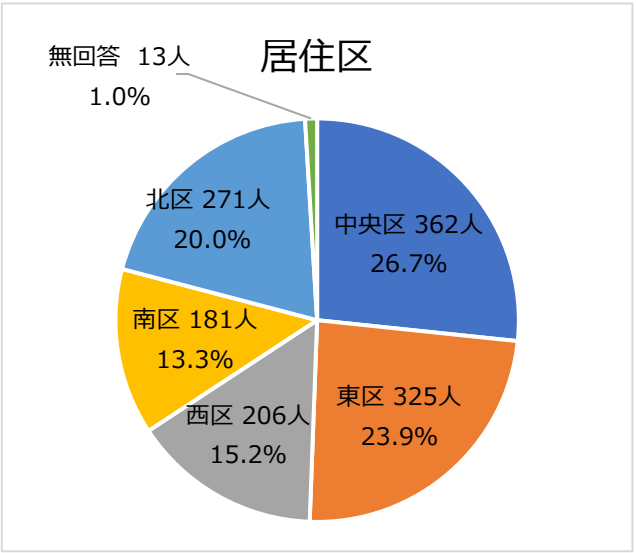
回答数：1,198 人

期間：令和５年（2023 年）７月 11 日から７月 25 日まで（意見交換会会場でのアンケート）

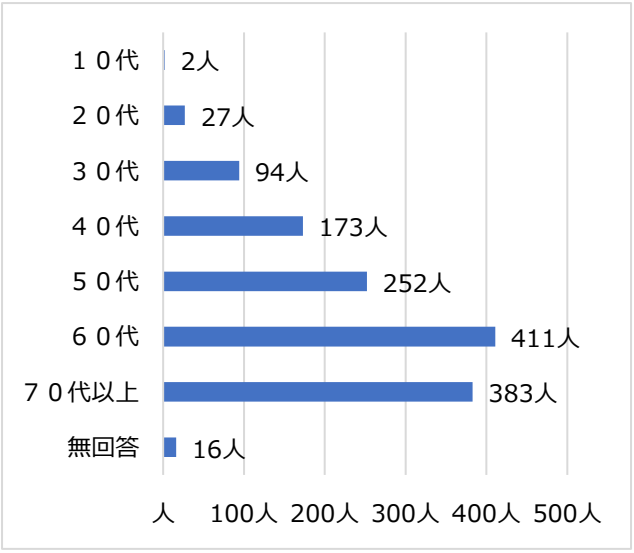
回答数：160 人

回答者の属性

居住区	回答数	割合
中央区	362 人	26.7%
東区	325 人	23.9%
西区	206 人	15.2%
南区	181 人	13.3%
北区	271 人	20.0%
無回答	13 人	1.0%
合計	1358 人	



年代	回答数	割合
１０代	２人	0.1%
２０代	27 人	2.0%
３０代	94 人	6.9%
４０代	173 人	12.7%
５０代	252 人	18.6%
６０代	411 人	30.3%
７０代以上	383 人	28.2%
無回答	16 人	1.2%
合計	1358 人	



居住形態	回答数	割合
戸建て	９４６人	69.7%
共同住宅	４０６人	29.9%
無回答	６人	0.4%

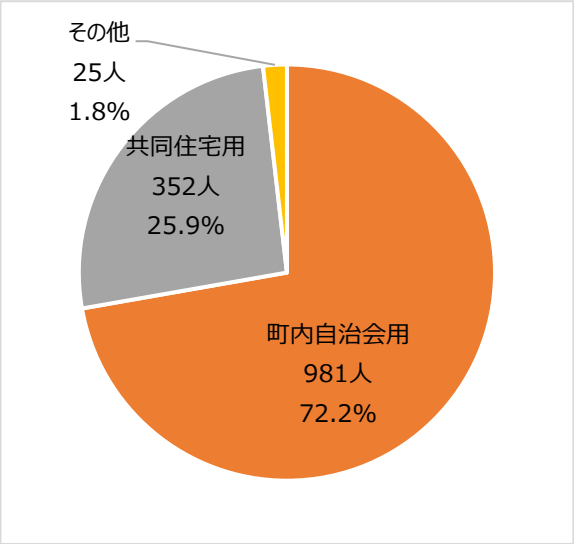
自治会加入	回答数	割合
有	１１９５人	88.0%
無	１２６人	9.3%
無回答	３７人	2.7%

1　ごみステーションについて

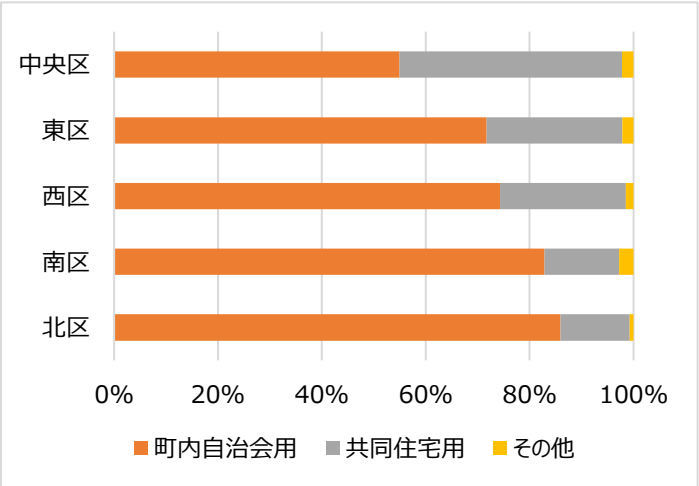
〈問１〉日頃、利用しているごみステーションは何ですか。

○「町内自治会用」が 72.2%で最も高く、「共同住宅用」が 25.9%だった。

○居住区別では、「共同住宅用」の割合が最も高いのは「中央区」で 42.8%だった。また。「町内自治会用」の割合が最も高いのは「北区」で 86.0%だった。



（参考）居住区別



※「その他」の主な回答内容

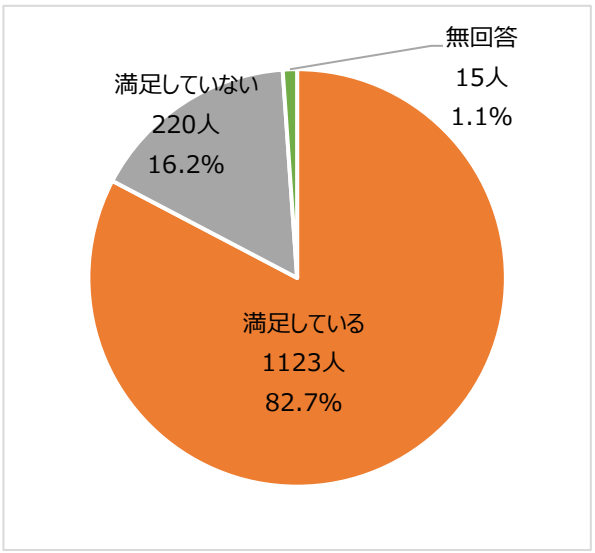
・自宅前

・１年毎にごみステーションを持ち回り

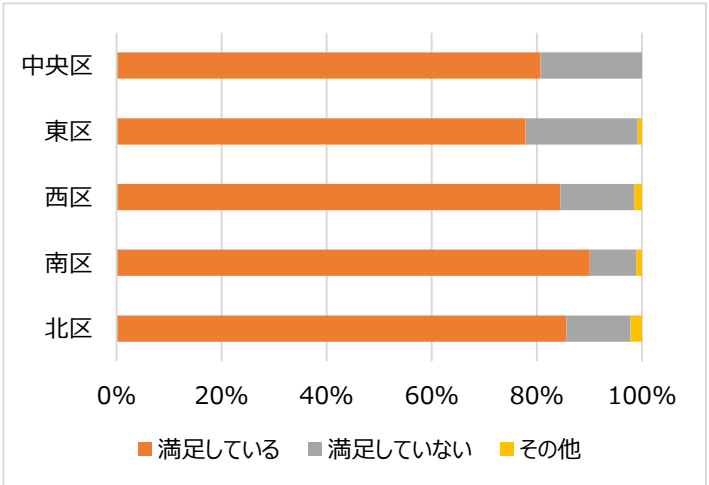
・自分で民間業者に依頼

〈問２〉現在の熊本市のごみ出しルールについて満足していますか。

○「満足している」が 82.7%で最も多く、「満足していない」は 16.2%だった。



（参考）居住区別

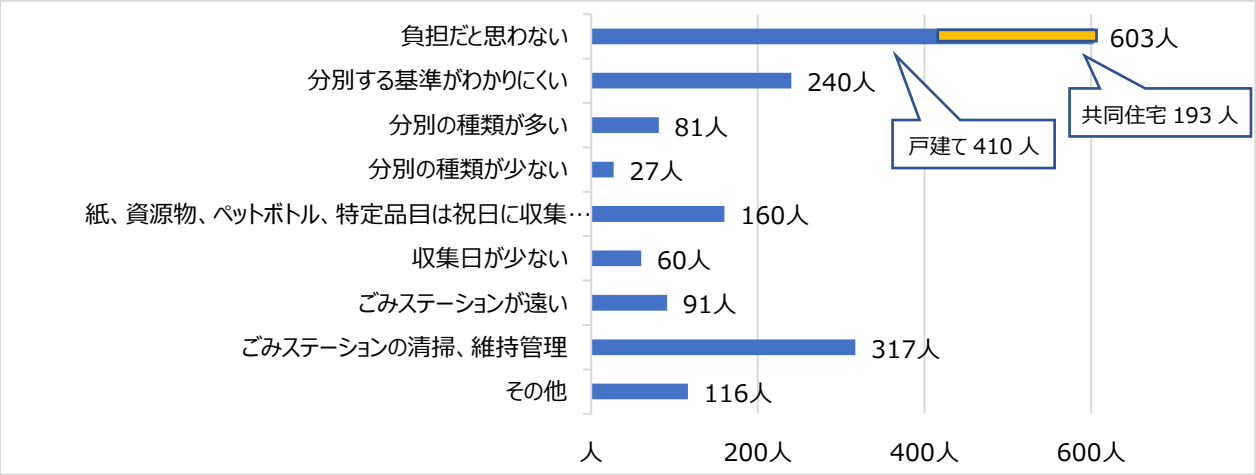


2　ごみ出しの負担について

〈問３〉ごみ出しで負担となっていることは何ですか。（複数回答）

○「負担だと思わない」が 44.4%で最も高く、次いで「ステーションの清掃、維持管理」が 23.3%、「分別する基準がわかりにくい」が 17.7%の順に高かった。

○「負担だと思わない」を居住形態別にみると、「戸建て」が 68.0%、「共同住宅」が 32.0%だった。



※「その他」の主な回答内容

・違反ごみに関する負担　28 件

例：地域外から車で持ち込む人がいる。そういう人に限って分別をしていない。

・収集（時間や回数）に関する負担　21 件

例：福岡は夜中収集なので防犯にもなりカラス問題も解消される。夜に変更希望。

・ごみステーションの種類、持ち回りの負担　11 件

例：ごみステーションが市の管轄ではなく、土地の持ち主の善意での提供や、道路脇などに設置する昔ながらのやり方には無理がある。

・カラスなど鳥獣害に関する負担　９件

例：時間によってはカラスがゴミをつついていたり、そばでこちらを見ていたりするので、怖くてゴミを出せない時がある。

・大型ごみに関する負担　８件

例：大型ごみの申込みが電話なので手間。ネットで予約ができたらいい。

・収集袋に関する負担　６件

例：ごみ袋が高い。

・ごみを捨てること自体の負担（高齢者等）　５件

例：高齢者が、ゴミ出し日がわからず指定日に出せない。

・持ち去りに関する負担　２件

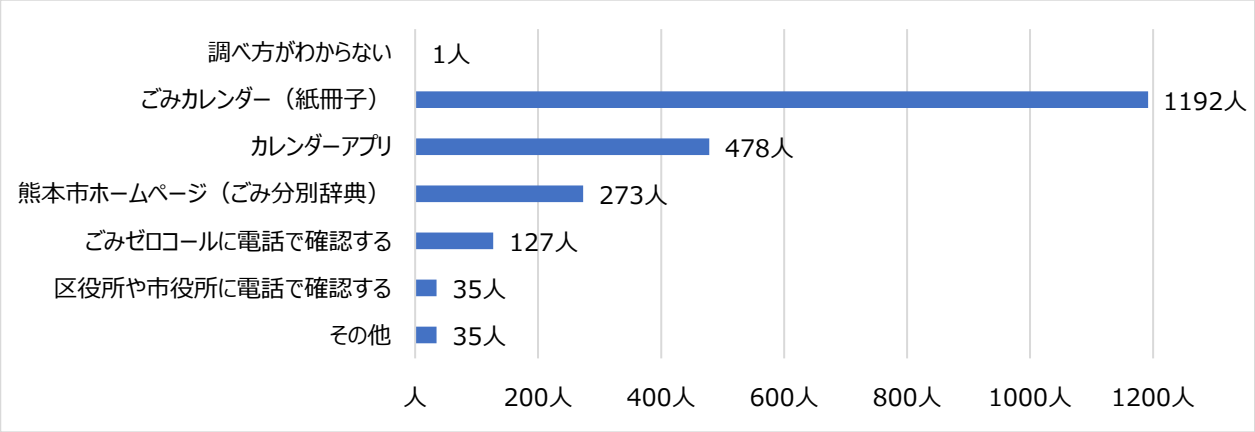
例：資源物(アルミ缶)を業者ではない者が回収している。

3　分別の調べ方について

〈問４〉ごみの分別をどのようにして調べていますか。（複数回答）

○「ごみカレンダー」が、87.8%で最も高く、次いで「ごみカレンダーアプリ」が 37.0%、「熊本市ホームページ（ごみ分別辞典）」が 20.1%だった。

○「ごみカレンダーアプリ」を使用している方のうち、69.0%が 50 代以下だった。



※「その他」の主な回答内容】

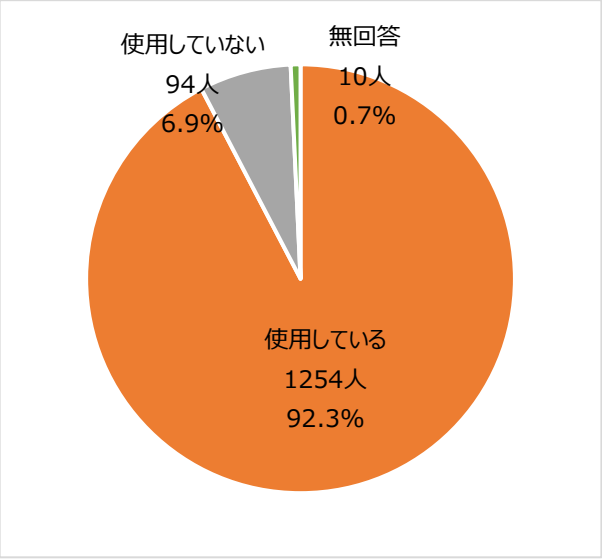
・熊本市公式 LINE（21 人）

・知人などに尋ねる（３人）

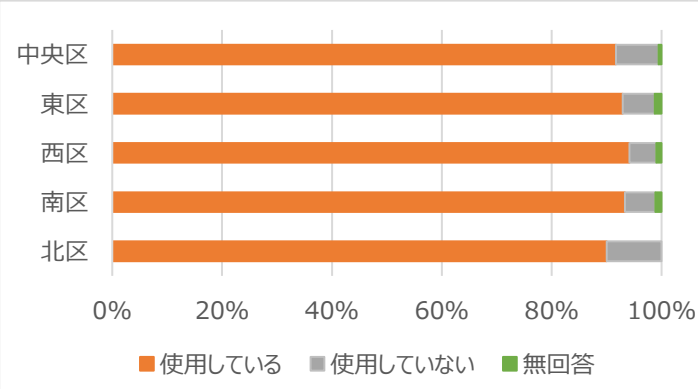
・クリーンセンターに電話で確認する（２人）

〈問５〉ごみカレンダー（紙冊子）は使用していますか

○「使用している」が 92.3%、「使用していない」が 6.9%だった。

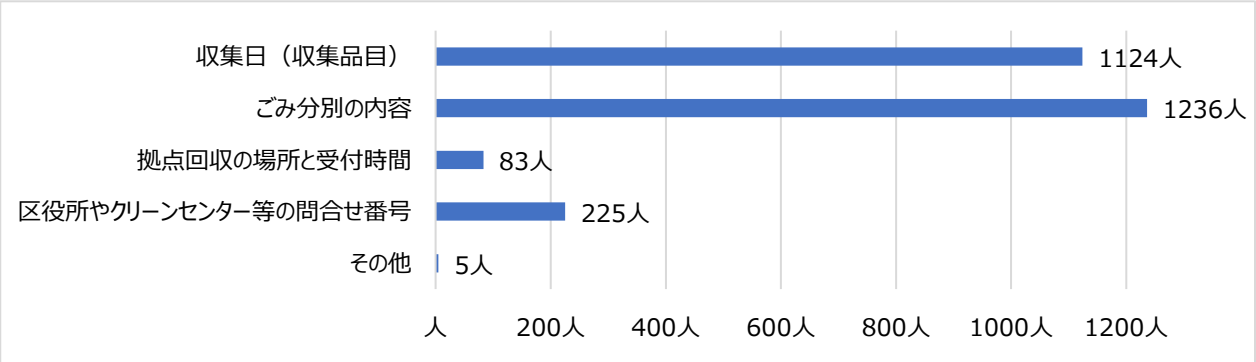


（参考）居住区別



〈問６〉ごみカレンダー（紙冊子、アプリ）で確認する内容は何ですか。（複数回答）

○「ごみ分別の内容」が 91.0%で最も高く、次いで「収集日（収集品目）」が 82.8%、「区役所やクリーンセンター等の問合せ番号」が 16.6%だった。

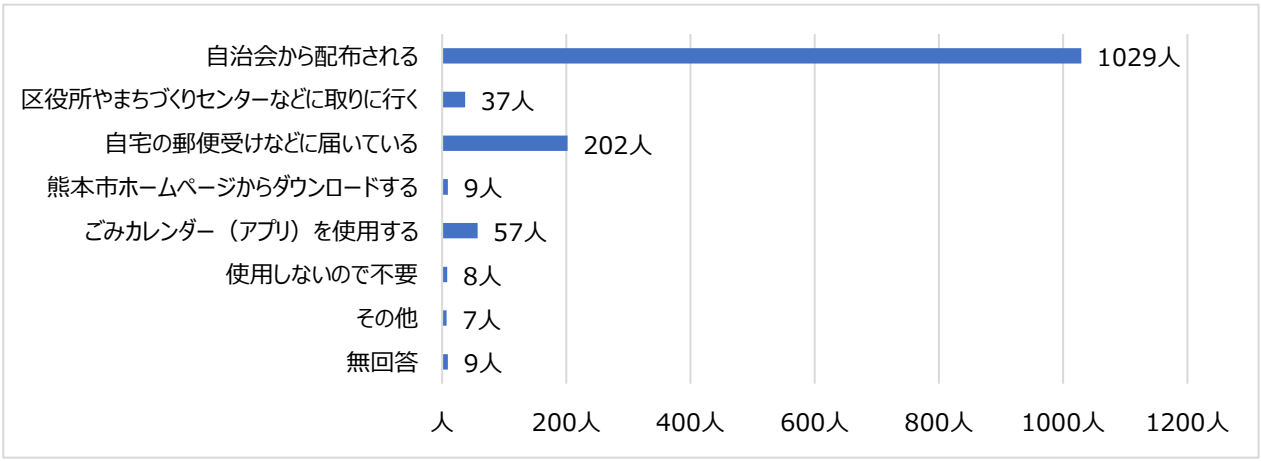


※「その他」の主な回答内容

・台風時の取り扱い（３人）

〈問７〉ごみカレンダーをどのように入手していますか。

○「自治会から配布される」が 75.8%で最も高く、次いで「自宅の郵便受けに届いている」が 14.9%、「ごみカレンダー（アプリ）を使用する」が 4.2%だった。



※「その他」の回答内容

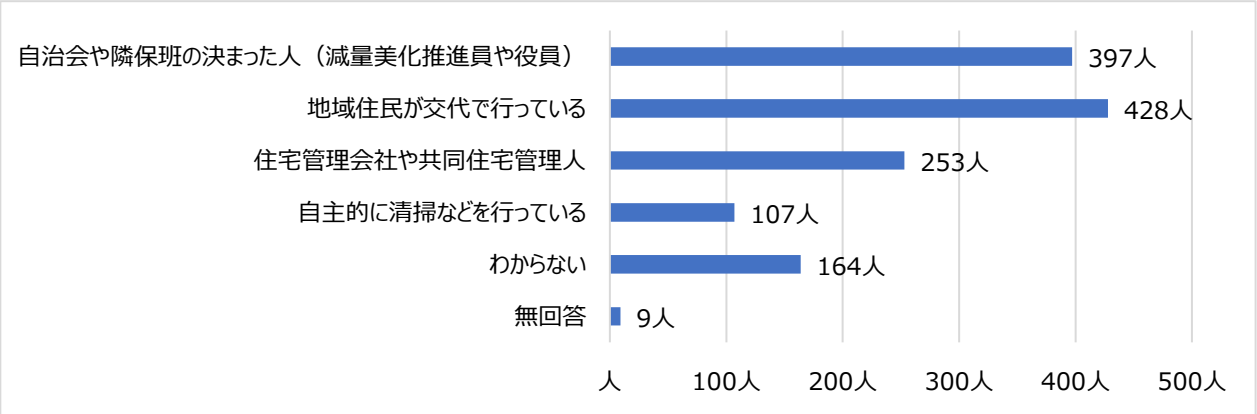
・自分が配布している（2 人）

・管理会社が配布している（２人）

4　ごみステーションの管理について

〈問８〉ごみステーションの清掃など、管理は誰が行っていますか。

○「地域住民が交代で行っている」が 31.5%で最も高く、次いで「自治会や隣保班の決まった人（減量美化推進員や役員）」が 29.2%、「住宅管理会社や共同住宅管理人」が 18.6%だった。

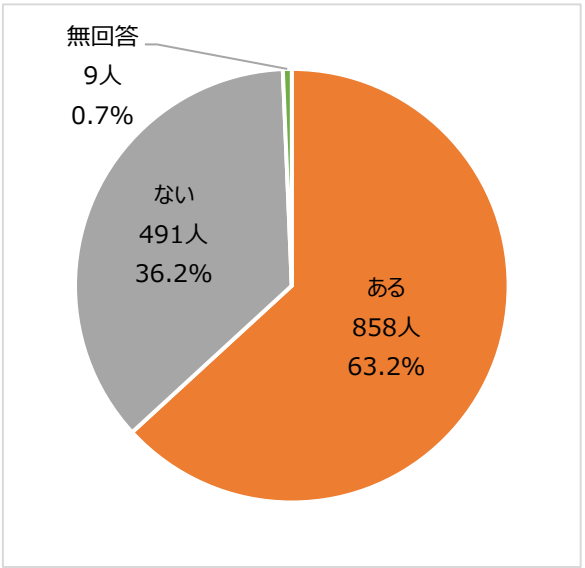


〈問 9〉ごみステーションの清掃など、管理にたずさわったことがありますか。

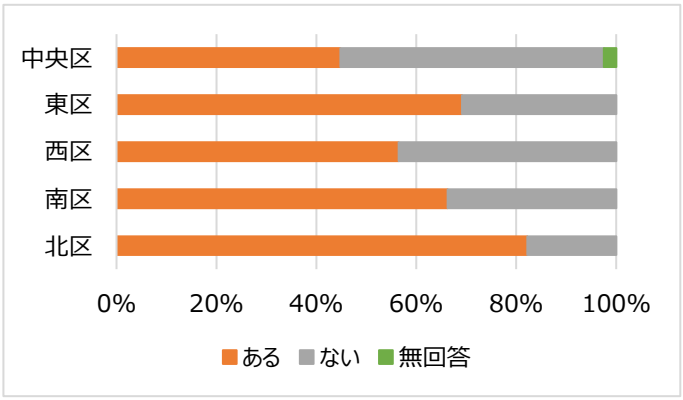
○「ある」が 63.2%、「ない」が 36.2%だった。

○「ある」と答えた方のうち、70.6%は 60 代以上だった。

○居住区別では、「ある」の割合が最も高いのは「北区」で 82.2%、最も低いのは「中央区で 44.8%だった。

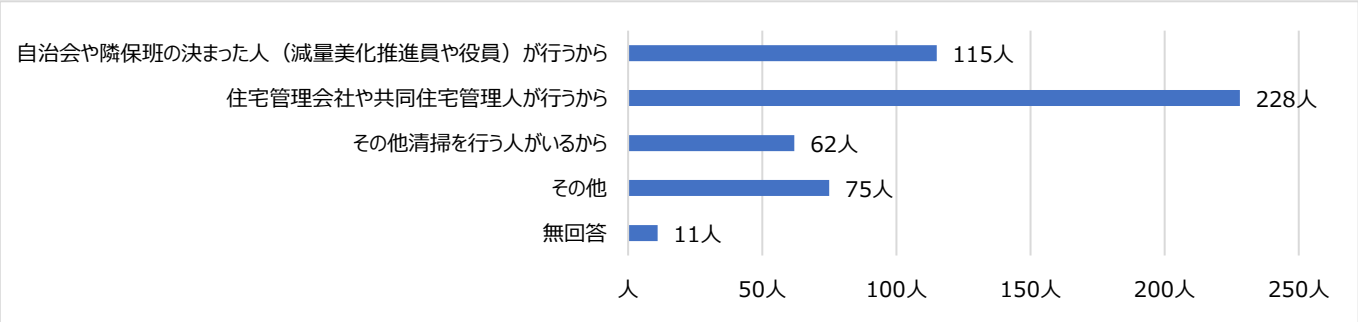


（参考）居住区別



〈問 10〉（問９で「ない」と答えた方）管理にたずさわったことがない理由を教えてください。

○「住宅管理会社や共同住宅管理人が行うから」が 46.4%で最も高く、次いで「自治会や隣保班の決まった人（減量美化推進員や役員）が行うから」が 23.4%、「その他」が 15.3%だった。



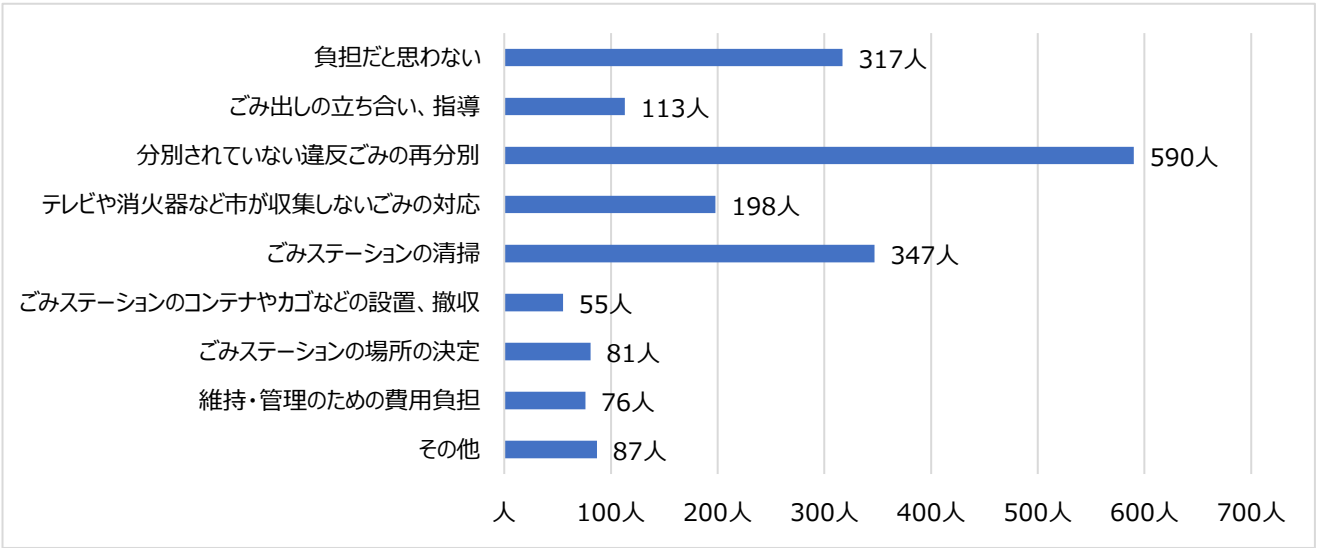
※「その他」の回答内容

・順番が回ってきていないからわからない
・清掃の必要がない
・県外の賃貸では自治会に自動加入だったが、今は何の情報も入ってこないし、地域の人との交流もない

〈問 11〉（問９で「ある」と答えた方）管理するにあたって負担が大きいものはどれですか。（複数回答）

○「分別されていない違反ごみの再分別」が 68.8%で最も高く、次いで「ごみステーションの清掃」が 40.4%「負担だと思わない」が 36.9%及びだった。

○居住形態別では、「負担だと思わない」のうち「戸建て」が 64.7%、「共同住宅」が 35.3%だった。



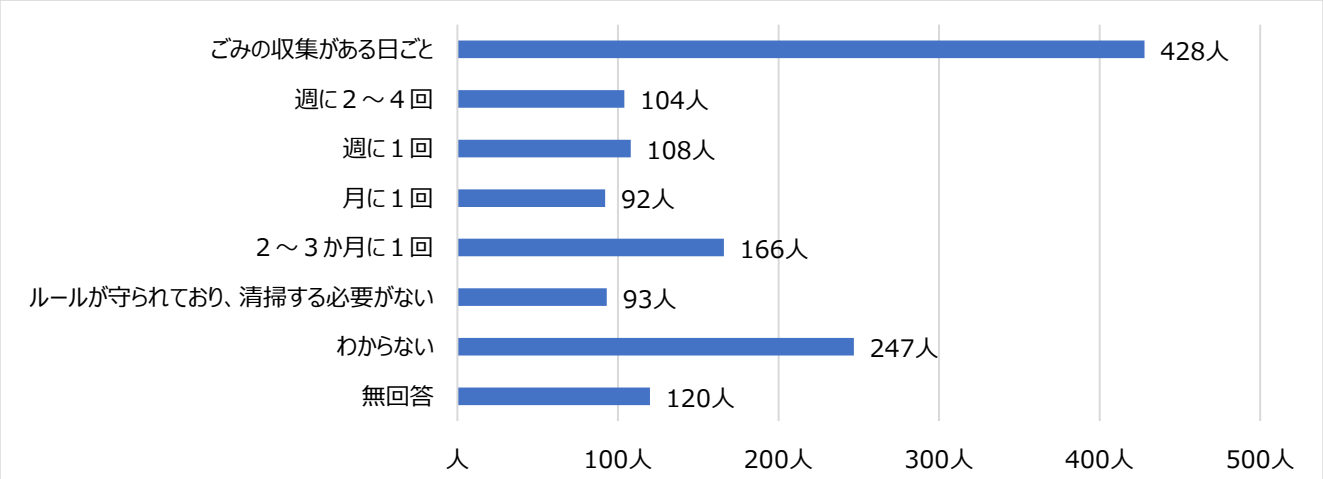
※「その他」の回答内容

・カラスや猫の害

・自治会の役員は当番表の作成、当番が来ない時の代わり、違反ごみの保管、補助金申請（報告書）をしなければならない。ごみステーションだけの理由ではないが、役員の成り手がいないことが大きな問題。

〈問 12〉ごみステーションの清掃を行う頻度を教えてください。

○「ごみの収集がある日ごと」が 31.5%で最も高く、次いで「わからない」が 18.2%、「2～3 か月に 1 回」が 12.2%だった。



5　その他の意見、要望（自由記載）※主な意見を分類、ピックアップして記載

（1） ごみステーションについて

① 設置場所の確保　12 件

例 1：ごみステーションの設置で、地域住民でもめる(自宅近辺は嫌。)。

例 2：ごみステーションの持ち回り反対。行政主体での改善を望む。

例 3：ごみステーションが遠く車を使用。車の免許を返納したらごみ出しが困難。

② ごみステーションの整備　7 件

例：ネットだけなので見苦しいし不潔。ブロックや金網で囲む等の工夫が欲しい。

③ カラスなどの鳥獣による被害　8 件

例：カラス対策が一番の悩み

④ 自治会未加入者のマナー違反等に対する不満　8 件

例：自治会未加入者は、清掃しないうえに違反ごみが多く指導に従わない方が多い。

（２） 分別について

① 分別の種類に対する要望　５件

例１：木の枝、葉と同様に雑草、枯花等も透明袋で処理したい。

例２：資源物として出せる物が増えたらいい。

② 分別の判断基準　５件

例：紙やプラごみは、汚れ度合い等で燃やすごみになるがその判断基準が難しい。

（３） ルール違反について

① 他所からの持ち込み　26 件

例：隣保班以外の人が分別してないごみを置いていく。収集されないためカラスなどに荒らされる。

② 分別・収集日を守らない　22 件

例：燃やすごみの日に缶が入っている。消火器や大型ごみを夜出す人がいる。

③ 再分別等の負担に対する要望　11 件

例：違反ごみは再分別して有料袋を使用、回収不能のものは自治会費で処分している。そのようなごみの回収を市で行って欲しい。

（４） 持ち去りについて

① 対応に苦慮　10 件

例：夜になると不燃ごみを漁って持ち帰る人がいる。付近を歩いて通るのも怖い。

② 対応強化に対する要望　８件

例１：市職員が出勤前に居住地近くのごみステーションをパトロールされてはどうか。

例２：持ち去りについて、画像や動画等通報先の周知を徹底してほしい。

（５） 収集について

① 収集回数に対する要望　６件

例１：びん、缶、ペットボトルは毎週にしてほしい。

例２：プラスチックごみの収集を週２回にしてもらいたい。

② 収集時間に対する要望　７件

例１：ある程度、時間帯を明確にしてほしい。

例２：福岡のような夜間収集を導入してほしい。

③ 戸別収集に対する要望　５件

例：自宅前にゴミを置いて回収できるようにしてほしい。

④ 収集業者等に対する要望　６件

例１：ルール違反に対してシールが貼られていない為、ルール違反が増えている。きちんと貼り警告していただきたい。

例２：収集業者が車に積み込む際に飛び出したごみを、清掃するのが大変。後片付けを実施していったことがない。

（６） 啓発推進について

① 情報発信の充実　８件

例１：もっと各家庭に対してごみ出しについての啓発活動をして頂きたい。あまり関心がないように思う。

例２：自治会でステーションの清掃をしている旨を、地域住民に対して啓蒙してほしい。若者と年寄りの溝を埋め、自治会がより良く存続する道に繋がる。

② 設備等の充実　３件

例：ごみ出しのルールや他所からの持ち込み、持ち去り抑止のための案内ボードがあったら助かる。

（７） 制度について

① 市で管理してほしい　７件

例：自治会の一番の手間はステーション管理。ごみ捨て場の乱れは防犯上よくないので、犯罪抑止のためにも市に介入して欲しい。

② 市内でのルール統一について　３件

例１：旧熊本市のやり方では、出してはいけない物が出ている時がある。先日の東部清掃工場の火事も電池、モバイル電池が混ざった結果。植木のやり方がいい。

例２：植木町は中央区等と分別の種類が違うため、同じ方法に変えて欲しい。他から転居された方からの苦言が多い。

（８） ごみ・資源物収集カレンダー（紙・アプリ）について

① 配布に対する要望　５件

例１：自治会役員で各自宅へ配布しているが、外部委託してほしい。

例２：アプリがあれば紙のカレンダーはいらない。経費が削減できるのであれば必要な人だけ区役所等で受け取りをすればいい。

② 内容・広報の充実について　５件

例１：アプリで調べる品目の種類を増やして欲しい。該当無しがでる。

例２：カレンダーは非常に解りにくい。例えば、同じページに収集日の違うゴミ分別の絵があれば同日収集と勘違いする。

（９） その他

① ごみステーションや収集・管理する方への感謝、労いの言葉　１４件

例１：ごみステーションが身近にあり大変助かっている。管理することは当然必要だし、コミュニケーションの場にもなっており、住民の一体感が生まれる。

例２：綺麗な街が保たれているのは収集などに携わっている方達のおかげ。せめて手を煩わせないように、ルールを守ってきちんとゴミ出しをしたい。

② ごみ処理に対するお尋ね　８件

例：燃やすごみは、取手部分は縛らない方がいいのか縛る方がいいのかわからない。

6　まとめ

【1　ごみステーションについて】

○中央区では、他の区と比較して共同住宅用ステーションを使用している割合が高かった。

○ごみ出しルールについては、8 割以上の方が「満足している」と回答しており、区ごとの違いは見られなかった。

【2　ごみ出しの負担について】

○中央、東区では「分別する基準がわかりにくい」が最も高く、西、南、北区では「ステーションの清掃、維持管理」が最も高かった。居住形態の違い（戸建て、共同住宅）が影響していると考えられる。

【3　分別の調べ方について】

○約 9 割の方が「ごみカレンダー（紙冊子）」を使って調べており、また、入手方法について、「自治会から配布される」「自宅の郵便受けなどに届いている」を合わせると約 9 割となることから、ほとんどの方が、自宅に配布されたごみカレンダーを使用していた。

○なお、ごみカレンダー（紙冊子）が「自宅の郵便受けなどに届いている」と回答した方は約 1 割にのぼり、誰が配布しているかを把握していなかった。

○ごみカレンダー（紙冊子、アプリ）で確認する内容について、約 8 割の方が「収集日（収集品目）」と回答しており、祝日・ハッピーマンデーの収集の有無や、隔週での収集（資源、ペットボトル）が影響していると考えられる。

【4　ごみステーションの管理について】

○居住区別にみると、「自治会や隣保班の決まった人（減量美化推進員や役員）」と「地域住民が交代で行っている」を合わせた割合が最も高かったのは、北区で約 8 割であり、一方、最も低かったのは、中央区で約 4 割だった（その他の区は約 6 割）。居住形態（戸建て、共同住宅）の違いのほか、自治会での当番制の違いなどが影響していると考えられる。

○「ごみステーションの清掃など、管理にたずさわったことがある」方の年齢層は、約 6 割が 60 台以上であり、区ごとの違いは見られなかった。

○管理の負担について、多い順に「分別されていない違反ごみの再分別」、「ごみステーションの清掃」となっており、区ごとの違いは見られなかった。

○清掃の頻度について、「ごみ収集がある日ごと」が最も多かった（中央、東、北区）一方、「わからない」が多かった区（西、南区）もあったことから、頻度が決まっておらず、汚れたら清掃する場合も多いと考えられる。